

児童学科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程・教育方法】

児童学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を系統的に習得させるために、以下のカリキュラム・ポリシーに則り、「先端児童学研究法」「児童学専門科目」「演習・特別演習」からカリキュラムを編成する。また、資格取得に必要な専門科目を置く。学科ディプロマ・ポリシーと授業科目の関係は、カリキュラム・マップとして提示する。

以下の「先端児童学研究法」と「児童学専門科目」をもって「児童学科コア科目群」とする。

先端児童学研究法

児童学の全体像と子どもを多角的にとらえる視点を理解するための科目として、1年次に「先端児童学序説」、4年次に「児童学総論」を置く。また、児童学の研究法を体験的に学修するための授業群を置き、児童学の研究領域に関するフィールドの課題の発見とその解決を図る姿勢を養う。

児童学専門科目

児童学の専門必修科目として、「発達に関わる専門科目」、「創造・文化に関わる専門科目」「社会・臨床に関わる専門科目」の3領域に関する専門科目群を置く。「発達に関わる専門科目」では、人間のライフサイクル全般を視野に入れた発達を学ぶ。「創造・文化に関わる科目」では、子どものもつ潜在可能性と独自の世界の理解を基盤として創造・文化について総合的に学ぶ。「社会・臨床」領域では、家族や地域等との連携を視野に入れ課題を考察する。

演習・特別演習

児童学に関するテーマについて実践と理論を往還させ、多角的で論理的に分析することができる能力やコミュニケーション能力を育成するための演習・特別科目を置く。

卒業論文

児童学に関するテーマについて論理的に学術論文としてまとめ、「卒業論文発表会」において的確に伝達する力を育成するために「卒業論文」を置く。

資格科目

幼稚園教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）の資格取得のための科目群を置く。保育者養成コースに、幼稚園教諭一種免許状・保育士の資格取得に必要な科目を置く。

【学修成果達成のための科目】

- DP1 先端児童学研究法、児童学専門科目
- DP2 先端児童学研究法、児童学専門科目、演習・特別演習、卒業論文
- DP3 先端児童学研究法、児童学専門科目、卒業論文、資格科目（教職・保育士）
- DP4 先端児童学研究法、児童学専門科目、演習・特別演習、卒業論文